

本件配布先：【住友電工】大阪機械記者クラブ、
【住友ゴム】ゴム記者会、【住友理工】中部経済産業記者会

PRESS RELEASE

2023年8月3日

住友理工・住友ゴム・住友電工が協業して、 サーキュラーエコノミーの実現に向けた取組みを加速 ～米国のバイオ技術会社 LanzaTech との廃棄物のリサイクルに関する共同開 発に 3 社で参画～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、住友ゴム工業株式会社（本社：神戸市中央区、代表取締役 社長：山本悟）、住友電気工業株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役 社長：井上治）と協業して、サーキュラーエコノミーの実現に向けたリサイクル技術の開発に取り組みます。

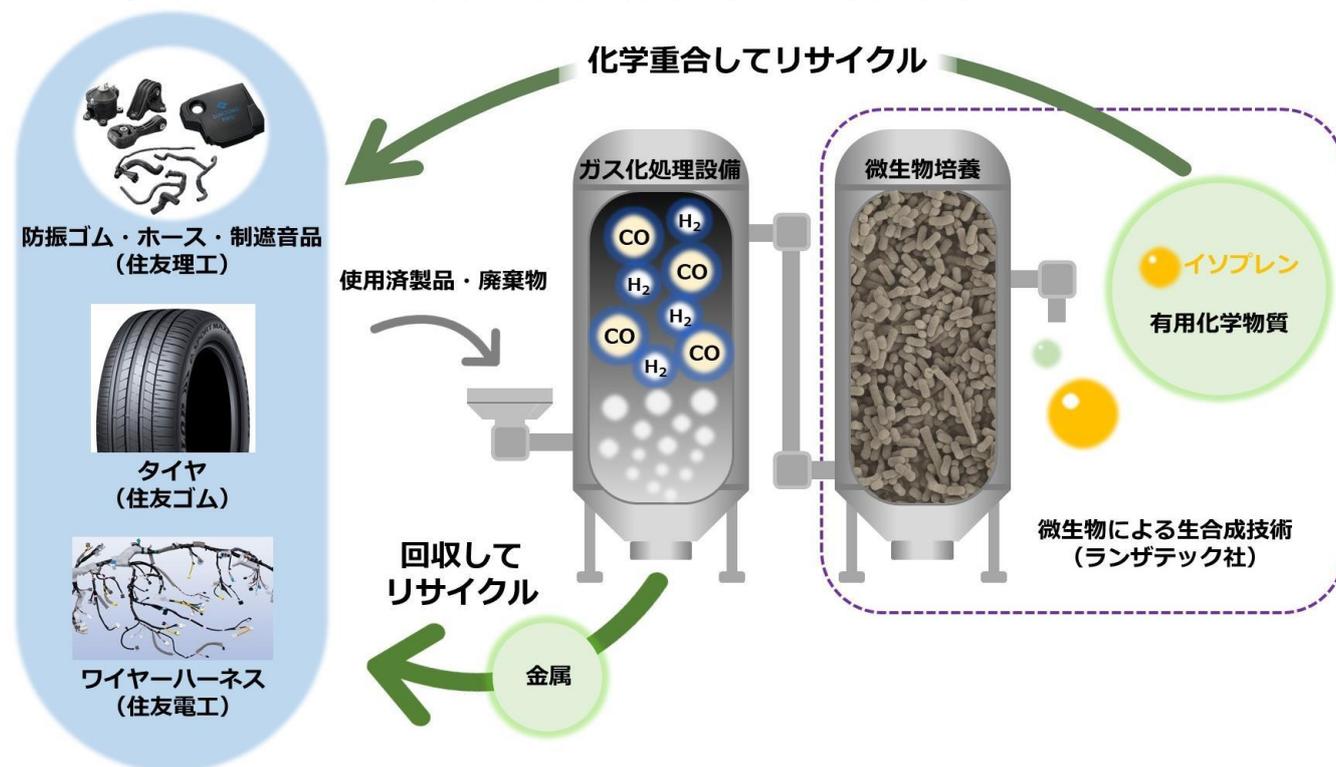
2022年11月に当社は、炭素回収・変換技術を有する米国のバイオ技術会社 LanzaTech Global, Inc.（本社：米国イリノイ州、CEO & Director：Dr. Jennifer Holmgren、以下「ランザテック社」）との共同開発契約の締結を発表しました。このたび、この共同開発に住友ゴムおよび住友電工が参画することとなりました。3社が協業してランザテック社との開発に取り組むことで、ゴム・樹脂・ウレタン・金属などの廃棄物のサーキュラーエコノミー（循環経済）への移行に向けた新たな技術を確立し、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーなどサステナブルな社会の実現に向けた取組みを加速させていきます。

3社協業



LanzaTech

今回の取り組みでは、原材料のサーキュラーエコノミーの実現に向けてもう一步踏み出し、住友ゴム、住友電工とともに、ランザテック社との新技術の開発を推進します。ランザテック社が有する「微生物による生合成技術」を活用し、当社製品などの廃棄物をガス化・ガス精製した後、微生物による生合成反応を経て、新たにゴム原料となるイソプレンを生産することを目指します。最終的には、原料メーカーとの協業を進め、イソプレンを再び、ゴム・樹脂として利用するリサイクル技術の確立も視野に入れていきます。また、廃棄物をガス化する過程で回収した金属をリサイクルし、原材料として再利用することを検討していきます。



協業による研究開発の枠組み

今回、3社での協業をスタートさせることで、住友理工の製品・廃棄物に加えて、住友ゴムのタイヤや住友電工のワイヤーハーネスなど、3社グループ全体の製品や廃棄物が対象となることから、循環型社会に向けて大きく進展することができると考えております。また、規模を拡大してサーキュラーエコノミーへの取り組みを加速する中で、3社の枠を超えた企業や組織との連携が進捗し、さらに循環の輪が広がっていくことが期待されます。

当社は、経営 Vision「2029年 住友理工グループ Vision」にて、2029年のありたい姿を「理工のチカラを起点に、社会課題の解決に向けてソリューションを提供し続ける、リーディングカンパニー」と設定しました。ありたい姿実現に向けた方向性は、「未来を開拓する人・仲間づくり」「柔軟かつ強固な組織づくり」「持続可能な社会に向けた価値づくり」としており、目指すべき未来社会像である、「自然と都市と人の空間が繋がるグリーンで快適な社会」の実現に貢献してまいります。

<会社概要>

住友ゴム工業株式会社

本社 : 兵庫県神戸市中央区脇浜町 3-6-9

代表 : 代表取締役社長 山本 悟

創業 : 1909 年

事業内容 : 各種タイヤ、スポーツ用品、産業品の製造販売。タイヤでは DUNLOP、FALKEN のブランドでグローバルに展開している。

住友電気工業株式会社

本社 : 大阪府大阪市中央区北浜 4-5-33

代表 : 代表取締役社長 井上 治

創業 : 1897 年

事業内容 : 環境エネルギー事業、情報通信関連事業、自動車関連事業、エレクトロニクス関連事業、産業素材関連事業の 5 つの事業で、社会や暮らしの進化に貢献している。

住友理工株式会社

本社 : 愛知県名古屋市中村区名駅 1-1-1

代表 : 代表取締役 執行役員社長 清水 和志

創業 : 1929 年

事業内容 : 高分子材料技術・総合評価技術をコアコンピタンスとし、モビリティ（自動車）、インフラ・住環境、エレクトロニクス・ヘルスケアの分野で展開している。

LanzaTech Global, Inc.

本社 : 米国 イリノイ州

代表 : CEO & Director : Dr. Jennifer Holmgren

創業 : 2005 年

事業内容 : 低炭素燃料および化学物質の生産技術の開発と事業化を専門とする米国の技術プロバイダー。幅広い産業分野の排出ガスや合成ガスを使い、エタノールや化学物質を生産する独自の「ガス・ツー・リキッド」プラットフォームを確立。炭素循環社会の実現を目指している。

<本件に関する過去のプレスリリース>

<https://www.sumitomoriko.co.jp/news/2022/pdf/n51910660.pdf>

以 上

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>